



《将来に向けた取組方針》

当社グループは、事業活動において鉱物や水資源などの天然資源の恩恵を受けていることを認識し、この限られた資源を次世代へとつないでいくために、自然環境への負荷を最小限に抑えた事業活動を行っていきます。また、社有林・休廃止鉱山や再生可能エネルギー発電所などが保持する自然環境を重要な資産として保全し、地域活動も通じて生物多様性保全に関する普及啓発も行っていきます。これらの活動を推進するために「生物多様性保全方針」を制定し、ネイチャーポジティブな社会に貢献するための活動を進めていきます。

〈具体的取り組み事例〉

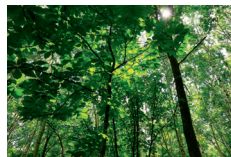
●製鍊所での取り組み

香川県の直島製鍊所では、少雨・乾燥土壌で植物が育ちにくい状況や過去の森林火災などにより山林が一部焼失した経緯から、年間1ヘクタールの植林活動を実施し、その植生促進と回復を目指しています。また、瀬戸内の自然環境を保護するため、所内で排出される排ガスや排水については、国の基準よりも厳しく設定し、処理を徹底しています。



●社有林での取り組み

日本各地に1.3万haの森林を保有し、そこに生息する動植物の生息環境に配慮する森林経営を実践しています。また、北海道の手稲山林は2023年10月に自然共生サイトとして認定され、認定区域のうち保護地域との重複を除かれた区域が2024年8月にOECDとして国際データベースに登録されました。



〈今後の課題〉

当社は、TNFD ver.1.0の開示フレームワークに基づいたTNFDレポートを2025年5月に公開しました。今後はLEAPアプローチにより得られた分析結果で得られた事業活動による自然に対するリスクや機会に対応するための取り組みを深化させていきます。

〈社会に向けたメッセージ〉

三菱マテリアルグループは、「人と社会と地球のために」という企業理念のもと、サステナビリティ基本方針において「地球環境保全への積極的取り組み」を掲げています。生物多様性の保全においても企業グループとしての持続的な成長を図りながら積極的な対応を進めていきます。